



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

5 月 号
令和 5 年 4 月 28 日
横浜市立屏風浦小学校
校長 市岡 直也

『学び合い』を価値ある学びに

校長 市岡 直也

4月初旬までたくさんの花が咲いていた桜の木には、生き生きとした緑の葉がたくさん生い茂ってきています。本校の敷地内は、目に鮮やかな緑が多く、これから迎える夏に向け、学校のいたるところで、動植物の命の力強さが感じられます。

新年度がスタートして1ヶ月。各教室からは、子どもたちが前向きに学習に取り組んでいる様子をうかがうことができます。本校の学校教育目標に『学び合い』という文言があります。この「学び合い」はいろいろな意味を含んでいます。

入学した1年生の教室に、先生とじゃんけんをする元気な声が響き渡っていました。先生との関わり、友達同士の関わりを楽しんでいました。

2年生は、生活科「小さな友たち」の学習で、樹木園を探検し、「ダンゴムシを見つけたよ。」と嬉しそうに報告合っていました。

3年生は、理科「生き物をさがそう」の学習で、虫眼鏡を片手に探検し、大きなトカゲを見つけたり、保健室前に咲いていた小さなピンクの花を虫眼鏡で見て「こんなにきれいなんだ。」と思わず声を発したりしていました。実物を見て、触れて、手にすることで得られる実感は、子どもたちの心に残るものと改めて感じました。

4年生は、社会科「県の地図を広げて」の学習で、神奈川県地形について話し合っていました。自分自身や周りの友だちに問いかけながら、社会科の資料を何度も見返し、確かめて、神奈川県の特徴を理解しようと取り組む姿を見ることができました。

個別支援学級は、「1年生が喜ぶかな。」と相手を意識しながら歓迎会の準備を進めていました。他者を意識することは、豊かな関わり合いにおいて大切なことです。

5・6年生は、早速、委員会活動がスタートしました。個々が役割を担い、学級、学年を超えて関わりながら、学校生活をより豊かにしていくために取り組もうとしています。また、クラブ活動も始まるようとしています。クラブ活動は、前年度に立ち上げたいクラブを募り、決定しました。子どもたちが自らの手で決めた活動が、異学年の友だちと協力し、創意工夫をして、自発的な活動へと高まっていくことを期待しています。

友だちと関わることでの「学び合い」、本物と出あい、体験等の実感を伴うことでの「学び合い」、映像や資料(教科書も含む)を何度も見返しながらかつ深めていく「学び合い」など、「人」「もの」「こと」の関わりを通して子どもたちが学び合う姿が見られるようになってきています。

5月から6月にかけて、本校では遠足、校外学習、宿泊体験学習等が、どの学年でも計画されています。安全面に留意しながら、自然に親しんだり協力して取り組んだりするなか、子どもたちの『学び合い』が、価値ある学びにつながるように教職員一同、取り組んでいきたいと思ひます。